

暮らしサポート 成田

通信 第4号 発行 令和4年1月

発行者 暮らしサポート成田
〒286-0033 成田花崎町 736-62
成田市商工会館 1階
電話 0476-20-3399 FAX 0476-23-3300
E-Mail: kurashi-narita@grace.ocn.ne.jp
窓口 月～金 8:30～17:15
休日 土・日・祝日、
年末年始 (12/29～1/3)

暮らしサポート成田が開設してから7年目になります。今まで市民の方からさまざまな相談があり、自立や生活再建に向けての支援を行ってきました。2年前に新型コロナウイルス感染症が広がってから、社会情勢が一変し、「仕事が見つからない」「減収になって生活が大変」「家賃が支払えず住まいを失いそうだ」「借金をいくつも抱えている」など多くの相談が寄せられています。世の中は社会的孤立や経済格差等が広がり、生きづらくなっているとも言われています。仕事、借金の問題や対人関係の悩み、家族のひきこもりなど、一人で抱え込まずどうぞ相談してください。状況により訪問も致します。どうしたらよいか、なにができるか一緒に考えましょう。



◆場所がわからないときは
お電話でおたずねください。

令和3年11月の相談・支援の状況 ()内はコロナ前の令和元年同月の数字です。

- 電話や来所されて相談のあった方 217名 (96名) 《延べ回数は379件 (201件)》
メール、訪問、関係機関からの相談も含まれます。
- 相談支援として対応した件数 381件 (533件) 電話、自宅訪問、関係機関同行など
- 年齢は20歳代から80歳代の方までさまざまです。
就職支援は40歳代～60歳代前半の方が多い状況です。

●相談で多い内容

収入・生活費について	18%	仕事について	22%
住居確保給付金関係	17%	収入・生活費について	15%
仕事について	16%	病気・健康・障がいについて	9%
病気・健康・障がいについて	13%	住まいについて	8%
住まいについて	5%	家族との関係	7%
貸付について	6%	貸付について	5%



フードドライブ、フードバンク…食品寄付のお願い

各ご家庭から賞味期限が切れる前の食品の寄付を募っています。

これらは生活に困っている方に無償で配布いたします。成田市社会福祉協議会または暮らしサポート成田までお持ちください。

未開封で常温保存が可能、賞味期限が概ね2か月以上あるものをお願いします。

★このような活動もしています★

詳しくは暮らしサポート成田（0476-20-3399）へお電話ください。
諸般の事情で日程に変更がある場合もございます。

ないたフリーサロン

居場所や仲間づくり、就労に向けた準備の集いの場として月1回開催しています。

日時：毎月第2水曜日 13:30～16:00

会場：もりんぴあこうづ（成田市公津の杜4-8）

※参加費無料、参加申し込み不要、開催時間中に直接会場へお越しください。

● 毎回、2名から3名の方が20代を中心に参加されています。フリーサロンでは、参加者の皆さん同士で近況や興味のあること、不安なことなど支援者を交えて話し合いをしています。ハローワーク等の情報をもとに、就労についても話題として取り上げ、必要に応じて個々の相談にも応じております。

※ 今の生活環境や就労に不安を抱かれている方は、是非参加してみてください。

ひきこもり家族交流会

ニートやひきこもりの状態にあるご家族が日頃の悩みや思いなどを語りあい、情報交換をしています。

日時：偶数月第4月曜日 13:00～15:30

会場：成田市保健福祉館（成田市赤坂1-3-1）

●娘さんが摂食障害でひきこもった時期のある講師の先生（女性）のお話から。『子どもとのかかわりの中でしてきた3つのことがあります。①自分（親）の価値観を変えていく…正しいお母さんから楽しいお母さんへ、②心の声を聴く…話し言葉でなく子どもの思いを考える、③家庭をホッとできる場、リラックスできる場にする…明るく焦らず、いてくれてありがたいの気持ちを持つ、ということです。』

●参加家族から

これまでの子どもに対する自分の対応を考えさせられました。先生の考え方、言葉があたたかく、心が明るくなりました。今後もまた話を聞きたいと思います。



「暮らしサポート成田」は成田市から委託を受け、社会福祉協議会と社会福祉法人大成会の共同事業体として、社会福祉士や精神保健福祉士の国家資格を有する職員が経済的な問題に限らず、生活全般の悩みに応じています。相談者の自立と尊厳の確保を大切にしています。